

Aiseikai Healthcare Corporation

上飯田クリニック

## 1 概要

血液透析を専門とする透析クリニックです。

透析コンソール40台にて昼間コース（月水金）（火木土）、夜間コース（月水金）の3コースで行っております。

隣接する総合上飯田第一病院の腎臓内科外来・腎センターをはじめ、他の医療機関との密接な連携を行い、「より安全でより快適な透析生活」の生活を目指しております。

### ・透析療法

腎臓の機能が10%以下になると、透析により腎臓の働きを代替える必要があります。透析療法には、血液透析（HD）と腹膜透析（PD）があります。

### ・血液透析（HD）

血液を人工臓器（ダイアライザー）に循環させて、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

### ・腹膜透析（PD）

お腹に設置した管から透析液を注入し、お腹にある腹膜を透析膜として利用して、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

## 2 2014年活動実績

医療安全対策委員会（月1回）、院内感染対策委員会（月1回）、栄養委員会（月1回）、フットケア・チーム（月1回）、患者サービス向上委員会（月1回）の定期的な開催及び各種委員会・看護部主催の講習会等の開催。

4月からは無料送迎サービスを開始。また、医療安全対策委員会による年2回防災訓練を行った。また、ヒヤリハットの分析により業務改善を行い、医療事故防止に取り組みました。

下肢の潰瘍・壊死などの予防対策として患者さまに定期的なフットケアを行った。管理栄養士による食事の相談・指導更にはポスター作成及び病内掲示を行った。

## 3 2015年目標

- ・ADLを取り入れた体力測定を実施していきます。
- ・無料送迎サービスの枠を拡大し、より充実した内容で患者サービス向上を目指していきます。

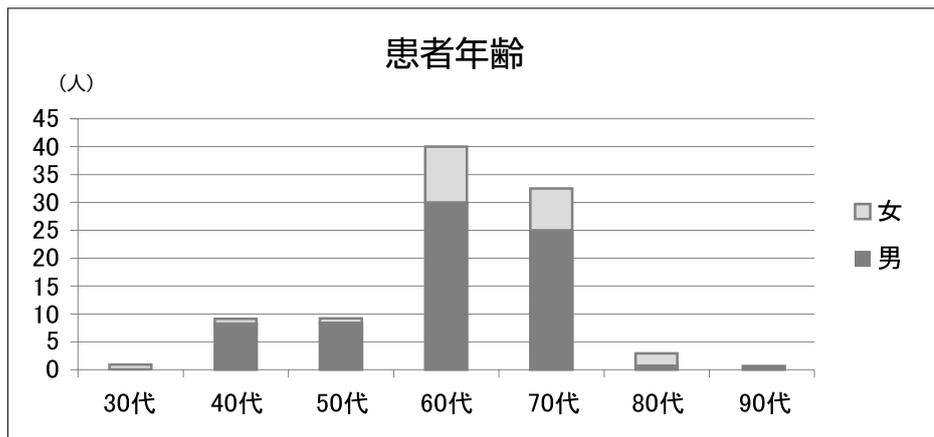
# 診療内容及び実績

## 1 診療内容

- ・対象患者 慢性維持透析患者（外来のみ）
- ・治療クール 昼の部：月～土 9：00～17：00  
夜の部：月・水・金 17：00～23：30
- ・治療方法 血液透析治療 オンラインHDF
- ・治療時間 3～5時間
- ・機器 RO装置1台 セントラル装置1台  
多人数用透析装置42台 個人用2台
- ・治療場所 上飯田クリニック2F 透析室40床  
上飯田クリニック3F 病室6床

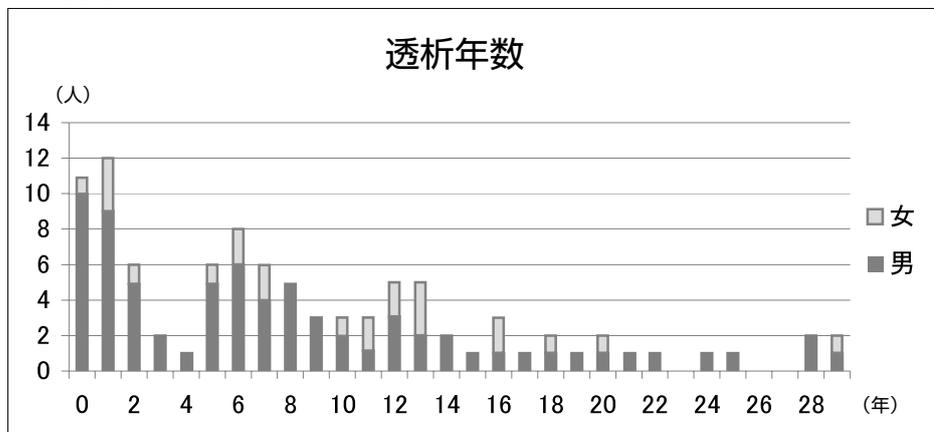
## 2 診療実績

### ・年齢



※2014年12月末現在

### ・透析年数



※2014年12月末現在

## 看護部

看護師長 近藤 弥生

### 1 特徴

- ・看護の理念  
愛生会の理念「信頼され愛される病院」に基づいて患者さまの生命を尊重し、看護職としての自信と誇りと責任を持って最善の看護に努める。

総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者さまの安心できる生活の一躍をになっています。

### 2 2014年活動実績

- 各種委員会にて業務改善及び効率化を図りました。
- 学会、各種講演会等に参加してフィードバックを行い看護の質の向上を図りました。

### 3 2015年目標

- ・看護業務の改善及び効率化を図る。
- ・看護の質の向上に努める。
- ・愛生会看護実践発表会に演題を提出する。

# 院内感染対策委員会

委員長 市川 美香

## 1 特徴

院内感染対策委員会は毎月定例で行い、感染予防の徹底と的確な対応が出来る体制づくりを進めるとともに感染講習会を定期的に行っています。

感染に対する日々の予防を行い、発生した場合には原因の調査及び、拡大を防ぐ方策を討議し、それをもとに院内感染対策マニュアルの更新や作成をしています。

また、患者さまに対しても手洗い・マスクの徹底を呼びかけており、感染対策のポスターなどの掲示も行っています。

## 2 2014年活動実績

院内感染対策委員会 : 毎月1回開催 (年12回)

院内感染講習会 : 年2回開催

(講習会内容: ノロウイルス対策について、透析患者に対する対処方法C型肝炎)

- 1) MRSA、ノロウイルス、B型・C型肝炎マニュアル更新
- 2) 新型、季節型インフルエンザ対策としてインフルエンザワクチン接種 (任意)
- 3) 手洗い、マスクの徹底
- 4) ノロウイルス対策 (家庭用) のパンフレット作成と指導
- 5) 感染対策のポスター作成と掲示
- 6) B型肝炎対策としてワクチン接種 (任意)
- 7) 結核対策としてツベルクリン反応検査
- 8) 職員の針刺し事故防止対策の実施と事故後の対応
- 9) 細菌検査状況の把握
- 10) 感染防止対策の実施状況確認と指導

## 3 2015年目標

・院内感染対策委員会 : 毎月1回開催 (年12回)

・院内感染講習会 : 年2回開催

職員を対象に院内感染管理の基本的な考え方や具体的方策について教育・講習を行い、患者さまや医療従事者の感染リスクを最小限にしていく。

# 医療安全対策委員会

委員長 富田 亜紀子

## 1 特徴

医療安全対策委員会では毎月定例で院内において発生した医療事故及びヒヤリハット・インシデントを統括報告し、重要案件に対して委員会で予防策や改善策を検討し、職員に周知徹底しています。

その他医療安全講習会、防災訓練（地震・火災・災害）、透析装置（新規導入コンソール・輸液ポンプ等）の取り扱い訓練、AED 取り扱い講習、エアー誤入時の対策法などの実施訓練を定期的及び随時行っています。

## 2 2014年活動実績

- ・医療安全対策委員会 : 毎月1回開催
- ・医療安全講習会 : 年2回開催  
講習会内容 : 危険予知トレーニング実践編 (2月)  
: ヒューマンエラー発生メカニズム (7月)
- ・防災訓練 : 年2回開催  
訓練内容 : 消火器訓練・東北地震体験談 (6月)  
: 夜間透析中の火災発生時の避難訓練 (12月)
- ・透析装置等の実施訓練 : 年2回開催
- ・ヒヤリハット・インシデントの分析
- ・防災の日患者指導 : 毎年9月開催

## 3 2015 年目標

- ・医療安全講習会・防災訓練・透析装置等の院内実施訓練の定期開催
- ・ヒヤリハット・インシデントの分析、医療安全の啓蒙活動
- ・東海地震に備えて災害マニュアルの更新
- ・院外の医療安全講習会等の参加

# 栄養委員会

委員長 藤田 寛子

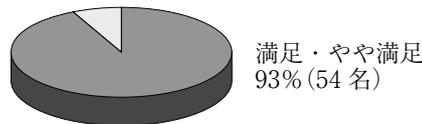
## 1 特徴

患者さま・職員における安全でかつ美味しい食事のサービス向上を目標に、管理栄養士・医師・事務長・看護師長・給食委託会社（日清医療食品株式会社）等とともに活動しています。

## 2 2014年活動実績

- ・ 栄養委員会：月1回
- ・ 患者食、職員食の残飯計量および記録：全ての食事  
残飯量の計量と食材の記録を行い、献立作成に反映
- ・ 患者食アンケート：年1回
- ・ 職員食アンケート：年2回
- ・ 個別、ポスター掲示等による栄養啓蒙活動
- ・ 講習会の参加：保健所、製薬会社、栄養士会等主催の院内外講習会へ参加
- ・ その他

患者食アンケート結果：



非常食の再検討

献立の見直し、松花堂弁当開始（年3回提供）

全患者に個々の透析時間に合わせて食事を提供した

夜コースでの透析前喫食患者の食事提供開始時刻の一部見直し

## 3 2015年目標

- ・ 食事の満足度の結果を維持し、食事利用者増加を目指す
- ・ 患者食および職員食の行事食や新メニューを導入し献立の充実を図る
- ・ 厨房内での異物混入をなくす
- ・ 院内外講習会に参加し、新しい情報や知識の習得に努め、患者さまへの情報提供に役立てる

## フットケア・チーム

委員長 近藤 弥生

### 1 特徴

腎不全になると閉塞性動脈硬化症を合併しやすくなります。

閉塞性動脈硬化症とは、血管が細くなったり、詰まったりして、手や足などの身体の隅々まで十分に血液が流れなくなる病気です。血流が悪くなると、手や足にできた小さな傷でも感染を起こし、潰瘍形成にまで進行すると治療が難しくなります。

特に、腎不全により免疫力が低下していると、感染症が悪化しやすく、手術が必要になる場合があります。日頃から足に触れて観察し、足の異常に早く気付くことが大切なので、定期的にフットケア・チーム委員会の開催、勉強会の開催、マニュアルの作成、啓蒙活動、情報の共有化をはかり早期対応が出来るようにしております。

### 2 2014年活動実績

- ・フットケア・チーム委員会 : 毎月1回開催
- ・フットケア勉強会 : 年2回開催
- ・フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動（ポスター等）

### 3 2015年目標

2014年活動実績に加え、フットケア講習会等に参加

# 患者サービス向上委員会（無料送迎サービス）

委員長 石河 優典

## 1 特徴

2013年4月より、透析後の患者さまを、福祉車両で自宅まで送る「帰宅支援サービス」を行ってまいりましたが、2014年4月より、朝の迎えを取り入れた「無料送迎サービス」として、サービスの拡大を行いました。

当委員会は、医師、看護師、ME、事務、MSW 他の各部門から構成され、患者さまの目線に立ったより良いサービスを提供出来るよう、月1回の委員会を開催し、患者サービス向上を目的として日々取り組み、改善を重ねています。

## 2 2014年活動実績

- 1) 無料送迎サービス準備期間（1～3月）
  - ・利用者募集。患者さま対象に聞き取り調査実施。
  - ・運転手、介助者及び福祉車両の確保。
  - ・利用規約、各種マニュアル等の改定。
  - ・現地調査（実走による時間配分及び道路状況等の事前調査）の実施。より効率的な運行ルート、運行時間、利用者の乗り合わせ等の検討。渋滞時の回避ルートの検討。
  - ・透析開始時刻の調整、トラブル時の連絡方法等の改善。
  - ・仮運行にて問題点等の洗い出し、運行ルート及び時間配分の最終確認）。祝日の運用等検討。
- 2) 無料送迎サービス開始後（4～12月）
  - ・「無料送迎サービス」（朝の迎えを追加）の運用開始。
  - ・クリニック専用車両（車いす対応）の確保及び運転手の補充。
  - ・「送迎状況一覧表」（事務所内掲示）による送迎状況の可視化。
  - ・5月～施設間送迎を開始。施設との引き継ぎ等の検討。
  - ・随時、希望者があり、透析開始時刻の調整及び乗り合わせ等の検討。

## 3 2015年目標

無料送迎サービスは、より多くの患者さまにご利用していただけるよう、送迎車両の稼働台数を増やし、送迎対象時間や地域の枠を拡大していきたいと考えております。今後も当委員会を中心としたスタッフの密接な連携を通じ、より多くの患者さまに満足していただけるよう取り組んでいきます。

